



2022年度事業 事業報告

2023年5月24日
九州経済国際化推進機構

2022年度 九州経済国際化推進機構 事業

1.国際化戦略等の企画・立案

- ①機構事業策定のための検討会議の実施
- ②国際関係イベント、海外展開支援関係機関からの情報の共有

2.広報・情報発信<九州地域の投資環境・海外展開情報>

- ①ウェブサイトによる情報発信
- ②広報資料による情報発信 PROFILE OF KYUSHU、ビジネスサポートブック…改訂 事例集…作成

3.経済交流<経済交流を活用した海外展開支援>

(1)アジア地域との経済交流事業

- ①中国及び韓国（環黄海地域等）との経済交流事業
 - ◆第20回環黄海経済・技術交流会議 …… 時期:2022年11月25日 開催地:韓国・釜山広域市、オンライン
- ②アセアン、その他地域との経済交流事業
《ミッション派遣》
 - ◆九州・ベトナム経済交流ミッション …… 時期:2023年3月6～9日 訪問先:ベトナム・ハノイ
 - ◆九州・タイヘルスケアミッション …… 時期:2023年2月8～11日 訪問先:タイ・バンコク《セミナー》
 - ◆ベトナムセミナー …… [⇒中止]

(2)海外ビジネス・経済情報提供事業

- ◆海外展開支援施策説明会 …… 時期:2022年8月～2023年3月 オンライン開催
- ◆九州・米国起業家セミナー …… [⇒中止]

(3)海外販路開拓支援事業

- ◆本格焼酎・泡盛輸出促進ネットワーク …… 時期:2022年5月～2023年3月 オンライン開催×4回
- ◆Kura Master 招聘・交流事業 …… 時期:2023年2月26日～3月3日 開催地:宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- ◆九州産食品の海外販路開拓推進事業 …… (商談会) 時期:2022年7～8月 オンライン開催
(現地フェア) 時期:2022年7～8月、11月 開催地:ASEAN地域5ヶ国 (マレーシア、カンボジア)

4.高度外国人材の獲得支援<留学生等の活用>

- ◆グローバル人材活用支援事業 (合同会社説明会) …… 時期:2022年12月14日 開催地:福岡市
- ◆高度外国人材獲得・活躍推進セミナー …… 時期:2023年3月17日 開催地:オンライン ★新規

5.投資促進<外国企業誘致>

- ◆外資系企業誘致セミナー (台湾・日本(九州)経済交流フォーラム2022) 時期:2022年10月24日 開催地:ハイブリッド開催(台湾・台北市)★新規
(九州・台湾経済交流フォーラム2023) …… 時期:2023年2月9日 開催地:台湾・台北市 ★新規
- ◆外資系企業等向けインダストリアルツアー …… 時期:2023年2月16日 開催地:北九州市 ★新規

九州経済国際化推進機構事業策定のための検討会議

検討会議設置の目的

- 機構事務局と個々の会員機関の「共通認識の醸成」および「連携体制を強化」し、会員相互の「一体的な取組」を推進するべく、「事業策定検討会議」を開催。
- 同会議は、機構事務局と各県・支援機関等が参加し、短期的及び中期的視点から、次年度以降の国際化・海外展開支援等事業における連携案件を発掘すべく、個別事業の連携実施の方向性に関する意見交換を行う。

開催実績

- 開催日：福岡（11/24）、佐賀（11/17）、長崎（11/24）、熊本（11/17）、大分（10/28*）、宮崎（10/11*）、鹿児島（11/18）
- 開催場所：Microsoft Teams meeting（*は対面）

主な意見

① コロナ禍での取り組み

- ポストコロナに向け海外市場の現地調査や、外国人バイヤーの招致、オンライン商談会などを行っている。
- 事業が対面で開催できるようになったが、オンラインの簡便さが定着し、想定より参加者が集まらない。商談会や交流会をセットで行い、リアルならではのメリットができるよう工夫を行っている。

② 機構事業への要望

- バイヤーにつながる機会を増やしてほしい。
- SDGs、CN、知財、スタートアップ支援などの情報提供や事業を検討してほしい。
- ミッションやセミナーの情報を早めに共有してほしい。可能な範囲で機構事業に協力していきたい。
- 会員独自事業の、機構のホームページやメールマガジンでの周知の方法について教えてほしい。

③ 次年度に向けた課題

- オンラインとリアルの使い分けによる効果的なイベントの実施が必要。
- オール九州（機構）事業の実効性を高めるため、一層の連携、協力が必要。

次年度対応案

- ミッション受け入れ等のタイミングでバイヤーとのマッチングを企画。
- SDGs、CN、知財、スタートアップ支援など要望を踏まえてセミナーや事業の内容を調整。
- ミッションやセミナーの情報はタイムリーに情報共有
- 局メールマガジンの配信依頼方法を情報提供。
- 各関係機関と引き続き緊密に連携しながら効果的な事業を実施していく。

3. 経済交流 < 経済交流を活用した海外展開支援 >

環黄海経済・技術交流会議

- 九州地域では、2001年3月から、中国、韓国 of 中央政府や経済団体とのパートナーシップのもとで、**環黄海圏の経済交流の深化**を図るため、「環黄海経済・技術交流会議」を開催。日中韓の地域間経済交流を持続するプラットフォーム、重要な地方レベルの会議として、三か国首脳からも注目。
- 中国、韓国等の**東アジア・環黄海地域の成長ダイナミズムと連動した、新たな価値創造**を目指す。
- 第20回会議(主催国:韓国)は2022年11月25日にオンライン形式で開催し、九州側からは環境やカーボンニュートラルをテーマに発表を行った。

【過去の開催状況】

第1回	2001年3月
日本	(福岡市)
第2回	2002年10月
韓国	(全羅北道全州市)
第3回	2003年9月
中国	(山東省威海市)
第4回	2004年10月
日本	(宮崎県宮崎市)
第5回	2005年11月
韓国	(大田広域市)
第6回	2006年11月
中国	(山東省日照市)
第7回	2007年11月
日本	(熊本県熊本市)
第8回	2008年10月
韓国	(仁川広域市)
第9回	2009年7月
中国	(山東省煙台市)
第10回	2010年10月
日本	(北九州市)
第11回	2011年11月
韓国	(大田広域市)
第12回	2013年11月
中国	(江蘇省連雲港市)
第13回	2014年11月
日本	(長崎県佐世保市)
第14回	2015年11月
韓国	(釜山広域市)
第15回	2016年7月
中国	(江蘇省塩城市)
第16回	2017年11月
日本	(鹿児島県鹿児島市)
第17回	2018年11月
韓国	(全羅北道群山市)
第18回	2019年11月
中国	(山東省済寧市)
第19回	2021年11月
日本	(熊本市) ※
第20回	2022年11月
韓国	(釜山広域市) ※

第20回会議(釜山オンライン会合)開催概要

- ◇日時:11月25日(金)15:00~19:15
- ◇開催方法:オンライン形式
※九州会場(福岡市中央区)はハイブリッド形式
- ◇発表概要:九州からは「環境」「カーボンニュートラル」をテーマに下記3社が登場。

- ①株式会社くりんか(福岡県宗像市)
「気候変動に対応したカーボンニュートラル技術の紹介~災害レジリエンス向上に向けて~」
- ②霧島酒造株式会社(宮崎県都城市)
「資源の有効利用によるサツマイモ発電」
- ③株式会社アステック入江(福岡県北九州市)
「都市鉱山に含まれる資源の損失を減らし、価値を高める方法」



成果事例

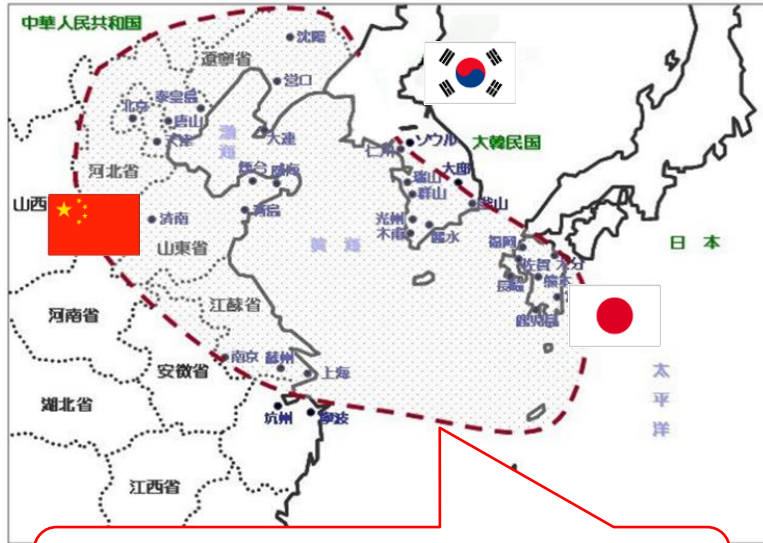
「両国間食品流通に関する覚書(MOU)」に署名

- 2017年の第16回鹿児島会合における山東省の協力提案を受け、九州経済連合会は、九州の農林水産物・食品の中国・韓国への輸出に向けて、中国山東省と具体的な協力を行うことを提案、了承。



(写真)九州経済連合会提供

- 2018年6月22日、九州経済連合会と山東省商務庁ならびに威海市人民政府との間でMOUに署名。同年9月に、山東省へ鹿児島県産養殖ブリ(東町漁協 鱒王)を初出荷。2020年12月には山東省・九州食品農水産物マッチング商談会を開催。



「環黄海エリア」(第20回会合時点)

上海から大連、仁川から釜山に至る中国・韓国沿岸部及び九州からなる黄海を取り巻く地域経済エリア。

九州:九州経済産業局、九州経済連合会、自治体、経済団体、大学、民間企業 等
中国:商務部、自治体、大学、民間企業 等
韓国:産業通商資源部、経済団体、自治体、大学、民間企業 等

ベトナムとの経済交流事業

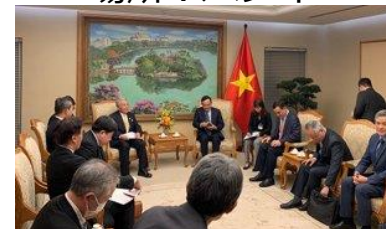
- 2009年2月に九州経済国際化推進機構（以下、機構）はベトナム計画投資省との間でMOUに署名し、その後相互に経済交流ミッションを派遣して経済交流を進めてきたところ。
- 2022年度は、ベトナム計画投資省とのMOUや在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館及び産業クラスター機関等とのネットワークを活用し、企業ニーズを踏まえた経済交流ミッションをベトナムへ派遣した。
- なお、ベトナム計画投資省とのMOUや在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館とのネットワークを活用し、引き続きベトナム外務省が主催する「ベトナム地方都市ミッション」等に協力する予定であったが、ベトナム側の都合により開催されなかった。

2022年度事業

1. 九州・ベトナム経済交流ミッション

九州の食品関連事業者を主なメンバーとするミッションをベトナムに派遣し、日本食材の商談会を開催

時期：2023年3月6日～9日
場所：ハノイ



首相府
チャン・クアン
リュウ・クアン
副首相
表敬訪問



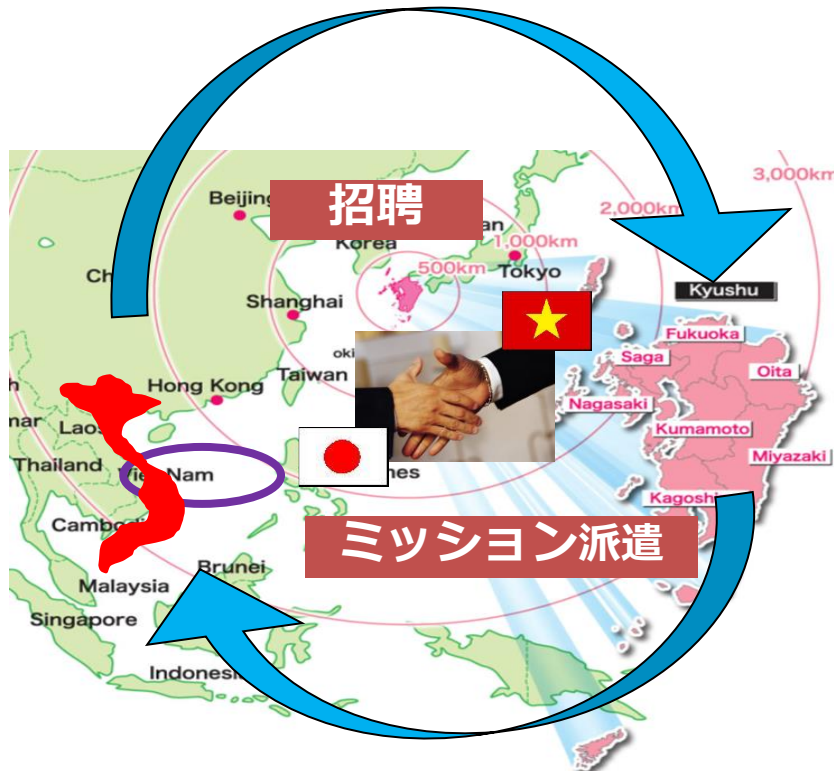
KPCオープニングセレモニー



外務省ファム・クアン・ヒュウ
副大臣
表敬訪問



商談会の様子

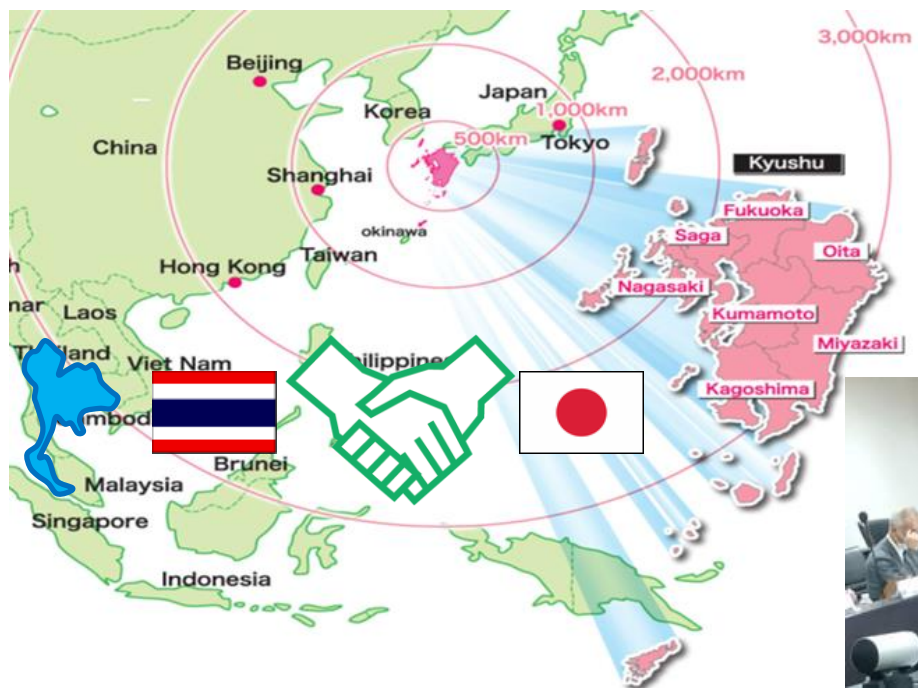


九州・ベトナム経済交流ミッション2023 行程

	DAY1 3/6 (月曜日)	DAY2 3/7 (火曜日)	DAY3 3/8 (水曜日)	DAY4 3/9 (木曜日)
午前	<p>※10:30福岡 ↓ベトナム航空 (VN357) 13:35ハノイ</p>	<p>視察団 工業団地訪問 (TOTOベトナム)</p>	<p>政府機関 表敬</p> <p>①計画投資省 ②外務省 ③ハノイ市 人民委員会 ④首相府</p>	<p>02:00 ハノイ ↓ベトナム航空 (VN356) ※07:30 福岡</p>
午後	<p>JETROハノイによる ブリーフィング</p>	<p>KPCオープニング セレモニー (内覧・記念イベント など)</p> <p>商談会 @KPC</p>	<p>視察</p> <p>イオンモール、 地場スーパー マーケットなど</p>	
	ハノイ泊	ハノイ泊	機内泊	

タイとの新たな経済交流に係る検討

- 2012年11月に九州経済国際化推進機構はタイ投資委員会（BOI）との間でMOUに署名し、その後ミッションの派遣や経済交流セミナーの開催など経済交流事業を進めてきたところ。
- 2018年10月に設置された在福岡タイ王国総領事館と連携して、2020年度、2021年度と連続してセミナーを開催。また、アンケート調査や各関係者へのヒアリング等を通して、各種ニーズを把握。
- 2022年度は、在福岡タイ王国総領事館等と連携して、近年タイ国内での高齢化の進行に伴って需要の高まりを見せているヘルスケア産業分野に焦点を当てたミッションを実施した。



2022年度の実施計画

九州・タイ経済交流ミッション

九州のヘルスケア産業関連事業者を主なメンバーとするミッションをタイに派遣。

時期：2023年2月8日～11日

場所：バンコク等



・相談会の様子@バンコクKaigoLife事務所（10日）

・タイ保健省健康関連サービス推進局副局長表敬（10日）

九州・タイヘルスケアミッション2023 行程

	2月8日(水)	9日(木)	10日(金)		11日(土)
午前		<p>JETROバンコクによるブリーフィング @ニッコーホテルバンコク</p>	<p>【表敬班】</p> <p>BOI 表敬</p>	<p>【視察班】</p>	<p>01:45 バンコク ↓ベトジェットエア 08:55 福岡</p>
	<p>10:00 福岡 ↓ベトジェットエア 14:10 バンコク</p>	<p>パラマウントベッドタイランド 視察</p>	<p>保健省 表敬</p>	<p>関係者との相談会 @KAIGO Life</p>	
午後		<p>The Senizens (介護施設) 視察</p>	<p>社会開発・ 人間安全保障省 表敬</p>	<p>有識者との意見交換</p>	
	バンコク泊	バンコク泊	機内泊		

海外展開支援施策説明会

- 企業の海外展開を支援するため、各支援機関による販路開拓・知財等の支援施策の紹介、専門家による最新の海外情報に関する講演、企業の事例紹介、個別相談等を盛り込んだ説明会を8月～3月の期間で開催。
- 2022年度は、支援機関による販路開拓・知財等の支援施策の紹介に加え、現地市場等の基礎情報の提供から専門家による海外事業の実務に関する講演まで、企業等による海外展開事例の紹介や専門家による最新の市場情報提供等を盛り込み、企業の取組フェーズに応じた内容を盛り込み開催した。

2022年度の開催実績

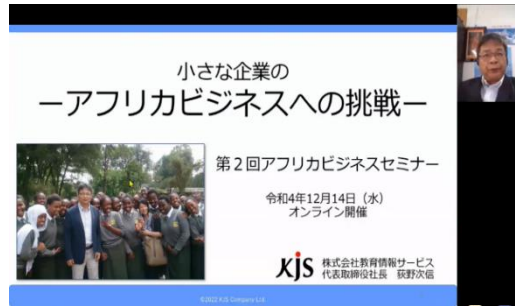


<プロフェッショナル日本人材を活用した海外展開促進ウェビナー>

開催日：2022年8月10日

参加者数：76名（オンライン）

開催概要：中小企業による副業・兼業人材等を活用した海外展開の取組事例や、土業・支援機関によるプロフェッショナル人材活用支援策について紹介。



<アフリカビジネスセミナー>

開催日：2022年12月14日

参加者数：71名（オンライン）

開催概要：アフリカ経済の基礎やトレンドをはじめ、アフリカ市場に展開する九州企業から“アフリカビジネスのリアル”について紹介。



<ASEANビジネスセミナー>

開催日：2023年1月27日

参加者数：78名（オンライン）

開催概要：ASEAN経済の現状や今後の展望をはじめ、ASEAN市場に展開する九州企業から“アフリカビジネスのリアル”について紹介。



<海外展開支援施策説明会>

開催日：2023年3月2日

参加者数：98名（オンライン）

開催概要：国や支援機関の海外展開支援施策や施策を活用して海外展開に積極的に取り組む企業の事例等について紹介。

本格焼酎・泡盛輸出促進ネットワーク、九州産酒類プロモーション事業

- 2021年5月に発足した「本格焼酎・泡盛輸出促進ネットワーク」について、2022年度も引き続きオンライン定例会を3回開催し、九州産酒類の輸出拡大に向けて会員間の情報共有を実施。
- 2022年8月に、フランスで日本産酒類のコンクールを主催するKura Masterの審査員長やバイヤー等が来九し、蔵元への賞の授与やプロモーション事業に向けた事前視察等を実施。
- 2023年2月～3月に、フランス国内で影響力のあるKura Masterの審査員等を招聘し、蔵元視察等を通じた、本格焼酎・泡盛の認知向上に繋げた。

1. 本格焼酎・泡盛輸出促進ネットワーク

○2022年度の活動

- ・定例会（オンライン会議）による会員の取組紹介
⇒計3回開催
- ・メールマガジン等による各種支援策の情報提供

本格焼酎・泡盛輸出促進ネットワーク

会員数：148 ※2023年11月末時点

関係蔵元

行政機関

商社・物流・流通

EC関係企業

企業・組合
団体等

2. 九州産酒類プロモーション事業

【事前視察】

時期：2022年8月15日～19日

場所：福岡県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

概要：2021年、2022年受賞蔵元への副賞授与、ソムリエ等による蔵元視察、焼酎のテイスティング、セミナー

【プロモーション事業】

時期：2023年2月27日～3月3日

場所：宮崎県、鹿児島県、沖縄県

概要：トップソムリエ等による蔵元・畑などの視察、焼酎麴・原料芋の試食、焼酎・泡盛のテイスティング交流会等



引用元：宮崎放送



引用元：南日本放送



さつま無双での製造工程見学



テイスティング交流会（13蔵元×2銘柄）

KuraMaster本格焼酎・泡盛部門の審査員達が来日し、受賞蔵を視察。

九州産食品の海外販路開拓推進事業

- 九州の食の輸出拡大は、Earth戦略Ⅱの重要事項として「九州の食輸出プロジェクト」が登録されているところ。
(KPI:2025年・2,200億円の食輸出)
- 上記戦略における本プロジェクトの実効性を高めるため、「九州の食輸出協議会（地域商社プラットフォーム）」（事務局：九州経済連合会）と協働・連携し、ASEAN地域5ヶ国（マレーシア、カンボジア）及び中国における販路開拓事業（オンライン商談会、現地フェアの開催等）を推進した。

九州の食輸出協議会・推進チーム

①「九州の食輸出協議会」2020年1月設立

- 九州の地域商社(5社)で構成。事務局は九経連。
- ⇒ **生産者と地域商社との共同輸出、地域商社間の共同による輸出取組のプラットフォーム**



②「九州の食の輸出推進チーム」2020年3月設立

- 農研機構、農林中金、九商連(福商)、中小機構、JETRO、九経連、九経局で構成。事務局は九経連と九経局。
- ⇒ **生産者の輸出取組の面的支援**

ASEAN地域5ヶ国及び中国における海外販路拡大に向けた取組

- 3月にマレーシア、カンボジア、インドネシア、タイ、ベトナムにおけるイオングループとのオンライン商談会を実施。結果として、7月にマレーシア、カンボジア2カ国の現地フェアに出品した（合計444ケース）。
- 11月にもカンボジア、マレーシアにて現地フェアに九州産食品を出品（合計405ケース）。
- その他、九州産品に対する引き合いがあり、香港、台湾での九州フェア開催に向けて現地関係者と協議中。
- 各自治体様との取組として、大分県主催の商談会（10月）および九州貿易振興協議会主催の商談会（1月）に九州の食輸出協議会の会員商社がバイヤーとして参加。



ぶどう、ももなどの農産品やお菓子などが成約



イオンマレーシア、カンボジアでの九州フェア

グローバル人材活用支援事業

- 地域企業において、海外ビジネスの拡大、イノベーションの創出、新規事業展開等の経営課題の解決のためには、高度な技能や専門知識を持つ高度外国人材の獲得・活躍推進が方策の一つとなっている。また、ダイバーシティ経営の観点からも、組織の活性化等のメリットも見込まれるところ。
- このため「九州グローバル人材活用促進協議会」(構成員：九州7県、九州経済産業局、九州経済連合会)等と連携して、九州企業と留学生の就職促進に向けた「留学生のための合同会社説明会」(対面)を福岡市で開催するとともに、九州企業における高度外国人材の獲得・活躍を推進するオンラインセミナーを開催する等、九州企業における高度外国人材活用・定着支援の取り組みを実施。

1. 留学生のための合同会社説明会

時期：2022年12月14日

場所：エルガーラホール（福岡市）

主催：九州グローバル人材活用促進協議会、九州経済国際化推進機構、（公財）福岡県国際交流センター 福岡県留学生サポートセンター運営協議会

参加企業：17社、参加留学生：29名

- 概要：・ 企業採用担当者との意見交換
・ 企業で活躍している外国人材との意見交換
・ 専門家による留学生への就職活動アドバイス 等



(合同会社説明会の様子)

2. 高度外国人材獲得・活躍推進セミナー

時期：2023年3月17日

形式：オンライン

主催：九州経済産業局、九州経済国際化推進機構

参加者：65名

- 概要：高度外国人材獲得活躍に向けた支援事業の紹介、地域企業における高度外国人材獲得・活躍推進に係る事例紹介。



(セミナーの様子)

令和5年3月7日(金) 14:00~16:00

参加費 無料

自己紹介

名前: カリス
趣味: バスケボール
国籍: 韓国
2022年9月APU卒業
昨年10月からインターン開始後、今年2月に正社員入社

Zoom Meeting

14:00~14:05 開会-主催者挨拶(九州経済産業局)

14:05~14:40 講演① 高度外国人材獲得-活躍推進に向けた支援事業の紹介

14:40~15:50 講演② 地域企業における高度外国人材獲得-活躍推進に係る事例紹介 (各約30分、質疑5分)×2社

16:00 質疑応答

セミナーの進行: 主催者挨拶(九州経済産業局) → 講演① → 講演② → 質疑応答

主催: 九州経済産業局、九州経済国際化推進機構

協賛: 福岡県国際交流センター、福岡県留学生サポートセンター

講師: カリス (韓国企業で活躍している外国人材)

司会: 福岡県国際交流センター 国際交流課 高橋 真由美 氏

主催者: 九州経済産業局 国際化推進課 高橋 真由美 氏

協賛者: 福岡県国際交流センター 国際交流課 高橋 真由美 氏

協賛者: 福岡県留学生サポートセンター 国際交流課 高橋 真由美 氏

(セミナーの案内)

外資系企業誘致セミナー ～ 台湾・日本（九州）経済交流フォーラム2022～

- 九州では、世界最大手の半導体ファウンドリであるTSMCの熊本への進出決定により、国内外から半導体分野に限らず大きな注目を集めている。こうした機運を活かし、台湾企業の九州への投資促進、台湾企業と九州企業との協業・連携など、更なる経済交流の促進を目的として、外資系企業誘致セミナー「台湾・日本（九州）経済交流フォーラム2022」を開催。
- 当日は、九州のビジネス・投資環境の魅力について紹介するとともに、JETROや地方自治体の各種対日投資支援策等について事例を踏まえて説明。更に、日本へ進出した台湾企業の投資・連携事例の紹介を行う等、台湾企業と九州企業との協業・連携等によるメリット等を広く紹介。

【日時】2022年10月24日（月）15:00～17:20（日本時間）

【形式】ハイブリッド開催

（Zoomによるオンライン配信、台北国際会議センター（台湾・台北市））

【参加者】約300名（内、台湾会場108名、オンライン約200名）

【主催】九州経済国際化推進機構、（一社）九州経済連合会、
（独）日本貿易振興機構 福岡貿易情報センター、
中華民国工商協進会、中華民国三三企業交流会

【後援】（公財）日本台湾交流協会

【プログラム】

- ①「台湾と日本の経済・貿易協力の新たな機会」／経済部 国際貿易局
- ②「九州のビジネス・投資環境の魅力」／九州経済産業局 国際部 投資交流促進課
- ③「Succeed Together in Kyushu and Beyond」／（独）日本貿易振興機構
- ④「九州の地方自治体における対日投資支援策と事例紹介」／福岡市、熊本県
- ⑤「台湾企業の日本への投資・連携事例紹介」／Next Drive(株)、Whoscall(株)



（台湾・九州会場の登壇者等）



（台湾会場の様子）

九州・台湾経済交流フォーラム2023

- 「台湾・日本（九州）経済交流フォーラム2022」の300名超の参加に加え、九州への立地を希望する台湾企業からの問い合わせの増加など九州と台湾の交流が活発化する中、半導体産業振興に係る産学官を主なメンバーとする「九州・台湾半導体交流訪問団」が2023年2月に派遣されたのに合わせ、台湾企業の九州への投資誘致、台湾企業と九州企業との協業・連携など更なる投資交流の促進を目的として、台北市にて「九州・台湾経済交流フォーラム2023」を開催。
- 九州と台湾の双方で投資・立地に関心のある九州・台湾の企業から事業紹介を行うとともに、九州・台湾の半導体・デジタル関連企業や関係機関が交流。また、前後の日程で関係機関を訪問し意見交換等を実施。

【日時】 2023年 2月9日（木） 14:00 – 17:35

【場所】 台湾・台北国際会議センター（TICC）

【参加者】 200名以上

【概要】 基調講演 1 台湾デジタル発展部 唐鳳部長（ビデオメッセージ）

基調講演 2 九州半導体人材育成等コンソーシアム紹介

九州半導体人材育成等コンソーシアム

人材育成WG 安浦 寛人座長(九州大学名誉教授)

企業プレゼンテーション

1.VPON 吳詣泓 ビッグデータグループ創設者兼最高責任者

2. TOPCO SCIENTIFIC 郭智輝 共同創業者
(TOPCOグループ 会長 (博士))

3. (株) SUMCO 谷田貝悟 経営企画部次長

4. (株) スズキ 鈴木清己 代表取締役社長

5. (株) QTネット 穂坂俊之 執行役員



(フォーラムの様子)

外資系企業等向けインダストリアルツアー

- カーボンニュートラル（CN）に係わる取り組みをはじめとする環境分野において、九州地域への外資系企業の誘致や協業・連携を促進するため、在日外資系企業、駐日外国公館等を対象として、海外企業との協業・連携を指向している九州企業の現地視察等を行う「外資系企業等向けインダストリアルツアー」を北九州市において開催。
- 今回のツアーでは、環境関連分野を中心とした企業等を訪問し、事業内容の紹介、施設見学、意見交換等を実施。在日外資系企業や駐日外国公館など7カ国・地域から17名が参加。現地視察では活発な意見交換がなされる等、協業・連携に向けた関係構築を図った。

1. 日時：2023年2月16日（木）8：40～18:00
2. 視察先：CNに係わる事業等に取り組む北九州市の企業等
3. 主催：九州経済国際化推進機構、(一社)九州経済連合会、九州経済産業局、北九州市
4. 協力：(独)日本貿易振興機構福岡貿易情報センター・北九州貿易情報センター
5. 参加：在日外資系企業、駐日外国公館、外国政府等関係機関 他7カ国・地域17名参加。（事務局含む合計31名参加）
6. 視察先
 - (1) (株) 安川電機（本社工場）：2050年までにCO2排出量を実質ゼロにする目標を設定。産業用ロボットなどメカトロニクス製品の製造工場等を視察。
 - (2) 北九州エコタウン（エコタウンセンター）：北九州市の「グリーンエネルギーポートひびき事業」の紹介や風力発電施設を視察。
 - (3) (株) リサイクルテック（PVR工場）：廃太陽光パネルリサイクル事業等を視察。
 - (4) (株) アステック入江（響工場）：廃電子基板から貴金属を分離回収し、レアメタルを抽出・再資源化を図る事業等を視察。
 - (5) (株) EVモーターズ・ジャパン：商用EV車両（バス、物流車等）の製造・販売事業の取組紹介。EVバスの試乗等を実施。



（北九州市や企業による取組説明の様子）



（響灘風力発電施設見学の様子）